

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		新・千客万来・アクティブ商店街事業					整理番号	137	枝番号				
担当部課名	区民生活部産業経済課	コード	051501	連絡先電話番号	3073	昨年度整理番号	139	昨年度枝番号					
係名	商工係	上位施策名					No						
予算事業名	新・千客万来・アクティブ商店街事	コード	15850	魅力ある商店街づくり					45				
事務事業の概要	事業開始年度	○ 昭和 ● 平成		13 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(2)	施策番号		事業コード	1
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等 (1) 杉並区新・千客万来・アクティブ商店街事業補助金交付要綱 (2) 杉並区新・千客万来・アクティブ商店街事業実施要領 (3)							
	商店街組合、商店会												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	商店街が提案する意欲的で工夫とアイデアが活かされた商店街活性化事業のうち、審査会の審査に合格した事業に対し、補助金を交付する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 商店会が自ら考え、また、外部の知恵を借り、自らの責任において実施する新たな商店街振興事業に対し、必要な助成を行い、個性的で魅力ある商店街づくりが行われることにより、地域経済の活性化を図る。							
	活動指標名(式)	(1) 申請した事業件数 (2) 申請を希望した延べ商店会数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 申請を希望した延べ商店会数に対する申請率 (2) (代) 事業実施件数							
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
	活動指標(1)	件	2	7	1	7	6	12	24	25.0			
	活動指標(2)	件	8	11	7	7	11	12	24	45.8			
	成果指標(1)	%	25	67	14	100	54	100	100	54.0			
	成果指標(2)	件	2	7	0	7	4	12	24	16.7			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	27,602	50,460	294	56,960	25,158	56,820	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円											
	(内) 委託費	千円											
	職員数(常勤   非常勤)	人	1.39	1.20	2.27	2.20	1.23	1.20					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	12,649	10,872	20,566	19,932	11,144	10,872				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	40,251	61,332	20,860	76,892	36,302	67,692					
	単位あたりコスト( - )÷	円	20,125,500	8,761,714	20,860,000	10,984,571	6,050,333	5,641,000					
	財源	受益者負担分	千円										
		国・都等からの支出金	千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	40,251	61,332	20,860	76,892	36,302	67,692					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み	内 容		規模		単位	事業費(千円)							
	新・千客万来・アクティブ商店街事業補助金		4		件	24,671							
	新・千客万来・アクティブ商店街事業審査会謝礼		2		回	320							
	新・千客万来・アクティブ商店街事業事業案提出に対する報奨金		1		回	100							
	消耗品購入費		4		件	67							
その他 ( )					0								

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 137 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	85.7	活動指標(2)の 18年度達成率%	157.1	18年度予算 執行率%	44.2
		平成18年度より外部提案活用型と継続支援型を新たに設けた。従来からある「商店街提案型」と「外部提案活用型」は5件の計画事業の枠に対し、2件の申請があり、審査の結果2件を採択した。また、「継続支援型」は2件の計画事業の枠に対し、4件の申請があり、審査の結果2件を採択した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		「商店街提案型」と「外部提案活用型」については、補助限度額を1,000万から500万円に引下げ、事業計画が小規模なものであっても、商店街の活性化につながる事業計画であれば、審査会に付す対象として取り扱う。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	景気回復が進んでいるが、区内事業所は引続き厳しい状況にあり、14年度から16年度の状況は、すべての数値においてマイナスとなっている。 区内卸売・小売業数(箇所) 14年度 5,670 16年度 5,492 区内卸売・小売業数(人) 14年度 37,722 16年度 35,982 年間販売額(百万円) 14年度 1,218,865 16年度 1,171,356					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	商店街が行う活性化事業に対し、補助対象経費の10/10を補助する内容については概ね評価を得ているが、商店街組織という特性上、企画立案する時間がなく、また大型商店街でなければ事業に専属する人間を確保することが難しい。					
	今後の予測	チェーン店の進出、商店会会員の高齢化、後継者不足等、商業環境の変化により、商店会活動を担うべき人材不足が深刻化しており、商店会の地域コミュニティ活動への影響も懸念される。しかし、一方では、地域住民やNPO等とともに本事業を活用し、商店街と地域を活性化しようとする動きも高まりつつある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 中(理由 )	理由: 商店会会員の意識改革を図る契機となっており、何か一つのものに取組むことで、商店会が一つにまとまることができる。しかし、補助期間終了後に事業を継続することが難しい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容 )	理由または具体的内容: 本事業に取組むことにより、商店街が活性化されることが一番望まれるが、一つの事業に対し商店街一丸となって取組むことで、商店会の意識改革は、ほぼ繋がっている。 理由または具体的内容: 申請する商店街には、商店街アドバイザー派遣制度を活用し、より具体的な計画立案の助言をしてもらうとともに、商店街の分析、組織の改善についても合わせて実施する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 補助金終了後も事業を継続するため、補助期間中も積極的に商店会経費を投入し、補助金に依存することのない事業運営を実施するよう指導する。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 )	理由または具体的内容: 補助期間終了後も事業を継続するため、当初の計画からコストなどを最小限にするよう指導し、また、そうした点を重視して対象計画の採択を図っていく。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題: 各商店街が特徴ある商店街づくりを推進した結果、マスコミで取上げられる商店街もあり、多くの商店街の問題である「集客力」の点で一定の成果があった。一方補助金交付事業であるため、補助期間終了後の維持運営が難しく、事業を終了した商店街もあり、継続性という点が課題である。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 「商店街提案型」と「外部提案活用型」の補助限度額と補助対象期間の修正を図り、より商店街が取組みやすい事業を立案できるよう配慮した。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 本事業を実施するにあたっては、大量の時間や労力を必要とするため、組織力の弱い商店会では、積極的に取組むことができない状況にある。地道に周知活動を行い、希望する商店街に対し「アドバイザー」の派遣などで取り組みをサポートしていく。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 本年度より「商店街提案型」と「外部提案活用型」の補助限度額と補助期間の変更を行った。平成20年度は、申請状況などを確認しつつ、より取組みやすい事業としていく。	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		魅力ある商店街づくり助成					整理番号	140	枝番号		
担当部課名	区民生活部産業経済課	コード	051501	連絡先電話番号	3075	昨年度整理番号	142	昨年度枝番号			
係名	商工係	上位施策名					No				
予算事業名	商店街振興総合対策	コード	16900	魅力ある商店街づくり					45		
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	63 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	(2)	施策番号	事業コード	1
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	根拠法令等					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	地域住民が多様なニーズを満たせる暮らしの場とするための商店会の活動に対し、指導・助成を行う。				(1) 杉並区魅力ある商店街づくり事業実施要綱 (2) 杉並区魅力ある商店街づくり事業費補助金交付要綱 (3) 東京都新・元気を出せ！商店街事業費補助金交付要綱					
	活動指標名(式)	(1) 事業対象商店会数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 総商店会数に対する事業対象商店会の割合 (2)					
指標	活動指標(1)	件	12	6	2	4	4	7	6	66.7	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%	9	4	1	3	3	5	4	75.0	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	6,586	5,650	2,263	44,920	28,827	56,589	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円									
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.62	0.46	0.49	0.46	0.49	0.46			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	5,642	4,168	4,439	4,168	4,439	4,168		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	12,228	9,818	6,702	49,088	33,266	60,757			
	単位あたりコスト( - )÷	円	1,019,000	1,636,333	3,351,000	12,272,000	8,316,500	8,679,571			
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円	806	1,159	1,131	20,806	14,408	28,593		
特定財源計 +		千円	806	1,159	1,131	20,806	14,408	28,593			
差引: 一般財源 -		千円	11,422	8,659	5,571	28,282	18,858	32,164			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)			
	新高円寺通商店街振興組合 装飾灯建設					58	基	17,838			
	富士見丘商店会 アーチ建替え					3	基	5,600			
	阿佐谷商和会 アーケード改修					1	式	4,901			
	宿町商興会 ホームページ作成					1	式	488			
	その他 ( )							0			

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 140 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	64.2
		各事業の実績額が当初、見積もり額を下回ったため。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		18年度は施設整備事業の増により予算増になっている。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	各商店会の魅力を高め、集客力を向上させるため本事業は有効に機能している。事業実施件数は、各種設備の耐用年数などにより左右されるので年度によりバラつきがある。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	補助金の対象を広げてほしい。限度額をアップしてほしい。				
	今後の予測	商店会会員の高齢化・会員数の減少・大型店の進出などにより、商店街にとって厳しい環境が今後も続くものと推測される。このような状況の下で本事業の役割はますます大きくなると考えられる。				
事業のあり方点検	以上	理由:施設整備事業や情報化推進事業に対する助成は、商店会をハード・ソフト両面から支援する事業であり、魅力ある商店街づくりへの貢献は大きい。				
	貢献度 大(理由 )					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ )	理由または具体的内容:費用の面で十分な補助だと考えられる。				
	成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:補助金をより有効に活用するよう商店会と連携を深め、事業内容を精査していく。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:区と都の補助金交付事業。				
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:都と区の補助金交付事業					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題    成果 事業費の2/3を補助することにより商店会の負担を軽減し、事業の推進を促している。    課題 ホームページを作成している商店会が全商店会数の1/4にも満たないなど、事業の活用が不十分なので、商店会に積極的に働きかけていく必要がある。				
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 都の間接補助事業(新・元気を出せ!商店街事業)と連携しており、区単独で事業内容を改革していくことは困難である。引き続き各商店会で有効に補助金を活用できるよう、商店会・都・区で情報交換等を積極的に行い連携を密にしていく。	
	(2)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 (1)に同じ。	
20年度方針	(1)20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由	施設整備を予定している商店会数が19年度より減少するため。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		元気を出せ商店街事業				整理番号	141	枝番号			
担当部課名	区民生活部産業経済課	コード	051501	連絡先電話番号	3075	昨年度整理番号	143	昨年度枝番号			
係名	商工係	上位施策名				No					
予算事業名	商店街振興総合対策	コード	16900	魅力ある商店街づくり				45			
事務事業の概要	事業開始年度	○昭和 ●平成		10年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等 (1) 杉並区元気を出せ商店街事業補助金交付要綱 (2) 東京都新・元気を出せ！商店街事業費補助金交付要綱 (3)							
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 商店会等		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) イベントを開催することで、商店会の集客力向上と活性化を図っていく。							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	商店会等が実施するイベント事業に対し、必要な補助を行う。 ・補助対象経費100万円以下の事業 区1/6、都1/2補助 ・補助対象経費100万円超 区1/3、都1/3補助									
	活動指標名(式)	(1) 補助対象イベント数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 商店会イベント開催数 (2)							
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)	件	78	81	75	88	85	99	100	85.0	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	件	78	81	75	88	85	99	100	85.0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	61,829	93,348	63,966	89,063	74,276	89,063	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円									
	職員数(常勤   非常勤)	人	1.00	0.73	0.76	0.73	0.76	0.73			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	9,100	6,614	6,886	6,614	6,886	6,614		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	70,929	99,962	70,852	95,677	81,162	95,677			
	単位あたりコスト( - )÷	円	909,346	1,234,099	944,693	1,087,239	954,847	966,434			
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円	36,500	54,824	37,635	52,459	32,013	58,900		
特定財源計 +		千円	36,500	54,824	37,635	52,459	32,013	58,900			
差引: 一般財源 -		千円	34,429	45,138	33,217	43,218	49,149	36,777			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み	内 容		規模		単位	事業費(千円)					
	南阿佐谷すずらん商店街振興組合「すずらん通り七夕まつり」		1,000,000		人	3,000					
	富士見丘商店会「七夕踊り流し」		7,000		人	3,000					
	高円寺銀座商店会協同組合「歳末福引大売出し」		150,000		人	1,282					
	その他 ( )					66,994					

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 141 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	96.6	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	83.4
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		イベント事業の補助金審査にあたっては、適正に補助金が執行されるよう対象経費等について区と都が厳格に審査を行うことから、予算額と確定額に差が出る場合が多い。また、補助金交付申請後にイベントを中止する商店会があることも未執行額が生じる原因である。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	申請件数はほぼ横ばいの状態が続いてきたが、18・19年度と増加傾向にある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	補助金の対象を広げてほしい。限度額をアップしてほしい。					
	今後の予測	本制度に対する商店会の期待は強く、申請件数が増加している。今後も本制度の必要性は高いものと思われる。					
事業のあり方点検	以上	理由: イベント実施が商店街の集客力アップの有力な手段となっており、商店会活性化に欠かせないものである。					
	貢献度 大(理由 )						
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ )	理由または具体的内容: 費用の面で十分な補助だと考えられる。					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 補助金をより有効に活用するよう商店会と連携を深めていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 区と都の補助金交付事業。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 都と区の補助金交付事業						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題    成果 事業費の2/3を補助しているイベントは、商店会の活性化に役立っている。    課題 イベント内容がマンネリ化している商店会が見られるので、内容を見直し集客力をアップしていく必要がある。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 都の間接補助事業(新・元気を出せ! 商店街事業)と連携しており、区単独で事業内容を改革していくことは困難である。引き続き各商店会で有効に補助金を活用できるよう、商店会・都・区で情報交換等を積極的に行い連携を密にしていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 (1)に同じ。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	19年度イベント件数が18年度実績より2割弱増加しているため、若干の増加が見込まれる。

## 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		商店街装飾灯への助成					整理番号	145	枝番号		
担当課名	区民生活部産業経済課	コード	051501	連絡先電話番号	3075	昨年度整理番号	147	昨年度枝番号			
係名	商工係	上位施策名					No				
予算事業名	商店街装飾灯助成	コード	16900	魅力ある商店街づくり					45		
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		10年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規				<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		装飾灯、アーチ等を維持管理している商店会		根拠法令等					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	区内の商店街に建設された装飾灯の維持管理経費（電気料、美化費、修繕費）に対し、その費用の一部助成を行う。		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）							
	活動指標名（式）	(1) 電気料助成商店会数		(2) 維持管理経費助成商店会数		(1) 杉並区民有灯の整備に関する条例 (2) 杉並区民有灯の整備に関する条例施行規則 (3)					
	成果指標名（式）	(1) (代) 電気料助成率(助成商店会数) ÷ (対象となる商店会数)		(2) (代) 維持管理費助成率(助成商店会数) ÷ (対象となる商店会数)		商店会が負担している装飾灯維持管理経費のうち、装飾灯を維持し道路に必要な照度を保つための費用（交通安全・防犯等の役割分）を助成することにより、活力と賑わいのある商店街としての基盤を強化する。					
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)	件	123	122	122	122	121	121	122	99.2	
	活動指標(2)	件	118	122	119	122	121	121	122	99.2	
	成果指標(1)	%	100	100	100	100	100	100	100	100.0	
成果指標(2)	%	100	100	100	100	100	100	100	100.0		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	28,820	45,444	44,145	49,066	47,202	53,049	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円									
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.54	0.55	0.58	0.55	0.58	0.55			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,914	4,983	5,255	4,983	5,255	4,983		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	33,734	50,427	49,400	54,049	52,457	58,032			
	単位あたりコスト( - ) ÷	円	274,260	413,336	404,918	443,025	433,529	479,603			
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	33,734	50,427	49,400	54,049	52,457	58,032			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)		
	電気料助成						121	団体	33,461		
	維持管理経費助成						118	団体	13,741		
	その他 ( )								0		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 145 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	99.2	活動指標(2)の 18年度達成率%	99.2	18年度予算 執行率%	96.2
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している 場合、関連する新規事業がある場 合にはその概要も明記)		装飾灯の電気料について、平成16年度までは区有灯の設置基準に準じて、装飾灯が設置されている道路延長に対し、30メートルで除した数を助成対象数の基本としていた。商店会によって助成率の格差が大きくなっていったため、平成17年度からは全灯を助成対象とした。					
事業環境の 変化	事業開始当初から 現在までの変化	区内商業活動は未だ厳しい状況であり、16年度までの6年間で連続して商店数・商店従業員数・年間販売額とも減少している。商店会数もわずかながら減少傾向にある。区内商店数(カ所) 11年度 6,343 16年度 5,492 区内商店従業員数(人) 11年度 40,724人 16年度 35,982 年間販売額(百万円) 11年度 1,293,945 16年度 1,171,356(商業統計調査)					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	装飾灯のポールの塗り替えや移設費用など様々な維持管理費用に対しても助成してほしい。また、商店街のアーケードやアーチの照明に対しても助成を増額してほしい。					
	今後の予測	すでにほとんどの商店会は装飾灯を建設済みであるが、商店会を取り巻く厳しい環境の中、装飾灯の建替えができず老朽化が進んでいるところが多くなっており、保守経費が増大していくことが考えられる。					
事業のあり 方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 商店街装飾灯の維持のために商店会に対して助成することは、商店会の発展に寄与するとともに、安全・安心のまちづくりに貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 毎年度、対象となる全ての商店会に対して助成をしているため。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 区で助成単価を決めており、それ以外の経費は商店会が負担している。財政状況が厳しい商店会に対して更なる負担を求めることはできない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 商店街振興・交通安全・防犯などの観点から装飾灯は重要であり、適正に助成をしていることからコストを下げる余地はない。					
	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄					
協働等 点検	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題: 商店街の装飾灯の電気料を助成することにより、夜間も安心して歩けるまちづくりに貢献している。また、装飾灯の修繕費、美化費を助成することにより、まちの美観の向上、賑わいの創出に貢献している。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 引き続き同様の内容で、電気料・修繕費・美化費助成を行う。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 引き続き同様の内容で、電気料・修繕費・美化費助成を行う。



# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		商店街装飾灯建設助成					整理番号	146	枝番号		
担当部課名	区民生活部産業経済課	コード	051501	連絡先電話番号	3075	昨年度整理番号	148	昨年度枝番号			
係名	商工係	上位施策名					No				
予算事業名	商店街装飾灯助成	コード	16900	魅力ある商店街づくり					45		
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	9年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号 (2)	施策番号	事業コード	1	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			根拠法令等						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	区有灯の代替として商店会が設置する装飾灯の新設や建替等に係る建設費用の一部を助成する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		商店街の道路に必要な照度を維持し、歩行者の安全を確保するとともに商店街の賑わいを演出する。					
	活動指標名(式)	(1) 装飾灯建設助成基数 (2) 装飾灯建設助成対象商店会数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 装飾灯総本数に対する助成本数の率 (2) 商店会総数に対する助成対象商店会数の率					
指標	区分	単位	16年度実績	17年度計画	17年度実績	18年度計画	18年度実績	19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)	基	40	100	115	47	47	132	100	47.0	
	活動指標(2)	件	3	4	5	2	2	4	4	50.0	
	成果指標(1)	%	1	1	1	1	1	1	1	100.0	
	成果指標(2)	%	2	3	3	1	1	2	3	33.3	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	4,971	50,250	24,206	11,666	9,919	31,273	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円									
	職員数 (常勤   非常勤)	人	0.35	0.38	0.41	0.38	0.41	0.38			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,185	3,443	3,715	3,443	3,715	3,443		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	8,156	53,693	27,921	15,109	13,634	34,716			
	単位あたりコスト( - )÷	円	203,900	536,930	242,791	321,468	290,085	263,000			
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円	4,970	15,196	12,103	5,833	4,959	13,757		
特定財源計 +		千円	4,970	15,196	12,103	5,833	4,959	13,757			
差引:一般財源 -		千円	3,186	38,497	15,818	9,276	8,675	20,959			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)			
	桜上水商店睦会 装飾灯建替え					12	基	2,653			
	西永福睦会 装飾灯建替え					35	基	7,266			
	その他 ( )							0			

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 146 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	85.0
		装飾灯実工事費が、当初見積り額を下回ったため。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		18年度は改正なし。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	事業開始当初から平成18年度まで、申請件数は3件前後であり大きな変化は見られない。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	商店会の財政状況や商店街の安全面を考慮すると、この事業は必要である。					
	今後の予測	今後も本事業の対象となる装飾灯(築15年以上)建替え工事が予測される。					
事業のあり方点検	以上	理由:商店会への集客力強化だけでなく、商店会利用者や商店街通行者の安全にも寄与している。					
	貢献度 大(理由 )	理由または具体的内容:					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ )	理由または具体的内容:補助対象商店会への申請働きかけ					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:多額の工事費を要するものであり、財政状況の厳しい商店会の負担増は困難だと考えられる。					
協働等点検	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:都と区の補助金交付事業					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題    区から装飾灯建設費の2/3を商店会に補助することにより、商店会の負担を軽減している。    課題 老朽化して安全性等に問題がある装飾灯があるので、商店会に建替えを働きかける必要がある。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成17年度から商店会の負担が従来より減少したことをさらに積極的にPRし、装飾灯の建替え年数に達している商店会に建て替えを促していく。	
20年度方針	(2)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 会員数減などの理由による商店会の財政状況の悪化。	
	(1)20年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由 利用希望商店会数の大幅増の見込みなし。	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		産業・観光まつり助成						整理番号	147	枝番号		
担当部課名		区民生活部産業経済課		コード	051501	連絡先電話番号	3075	昨年度整理番号	149	昨年度枝番号		
係名		商工係		上位施策名				No				
予算事業名		産業・観光振興		コード	17100	魅力ある商店街づくり				45		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		47 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 阿佐谷七夕まつり(主催:阿佐谷七夕まつり実行委員会) 東京高円寺阿波おどり大会(主催:NPO法人東京高円寺阿波おどり振興協会)				根拠法令等 (1) 地方自治法第232条の2 (2) 杉並区観光事業補助金交付要綱 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		事業経費の一部補助				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 観光事業に要する経費の一部を補助することにより、地元産業の振興を図るとともに、区のイベントから都を代表する全国的なイベントとしてさらなる発展を目指す。					
	活動指標名(式)		(1) 事務経費補助団体数 (2) 助成事業関連商店街数				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 観客動員数 阿佐谷七夕まつり (2) 観客動員数 東京高円寺阿波おどり大会					
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		団体	2	2	2	2	2	2	2	100.0	
	活動指標(2)		団体	4	4	4	4	4	4	4	100.0	
	成果指標(1)		万人	60	70	60	70	60	70	70	85.7	
	成果指標(2)		万人	120	120	120	120	120	120	120	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,500	3,500	3,500	4,500	4,500	3,605	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.10	0.20	0.24	0.20	0.22	0.20			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	910	1,812	2,174	1,812	1,993	1,812		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	4,410	5,312	5,674	6,312	6,493	5,417			
	単位あたりコスト( - )÷		円	2,205,000	2,656,000	2,837,000	3,156,000	3,246,500	2,708,500			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	4,410	5,312	5,674	6,312	6,493	5,417				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)		
		阿佐谷七夕まつり補助						1	団体	1,500		
		東京高円寺阿波おどり大会						1	団体	3,000		
		その他 ( )								0		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 147 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	100.0
		阿佐谷七夕まつりは今年54回目、高円寺阿波おどり大会は今年51回目を向かえ、夏の2大イベントとして定着している。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		高円寺阿波おどり大会は、平成17年より開催日程が日付固定から8月最終土日開催に変更になり、開催時間も30分繰り上がった。そのため平日よりも早い時間から多くの人出がある。それに伴う適切な案内や警備の強化が不可欠である。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	いずれも販売促進を目的としてスタートし、年を重ねるごとに盛大になり、都を代表するイベントの一つとなった。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	七夕まつりについて、飾りつけのリサイクルが望まれる。 高円寺阿波おどり大会について、ごみ・騒音・交通など住民の苦情がある。					
	今後の予測	高円寺阿波おどり大会は、週末開催に伴う安全確保のため警備の強化が求められている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: いずれのイベントも区内だけでなく、東京を代表する祭りに発展し、観光・産業の発展に寄与している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ )	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 主催者・関係者・関係機関との協議の中で観光事業としての成果向上はある程度可能。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: いずれも観光への補助事業であるため受益者負担の概念になじまない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 観光事業助成としては現状が最適だが、安全で環境に配慮したイベントを実施するためにはさらなる費用面での検討が必要である。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 主催団体をはじめ、警察消防などイベントに係わる他の団体との部分的な協働は実現している。高円寺阿波おどりは、主催団体がNPO法人化した事もあり、今後は特に保安・警備・環境面に関して総合的に連携していけるよう、自主的な活動を一層促す必要がある。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 主催者や関係機関との協議を進め、保安や環境配慮などの整備をすすめる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 イベントの規模に対し、主催者の組織体制が脆弱である。区としては主催者に最大限の自助努力を促し、区と主催団体の役割分担を明確にするとともに、適切な助言・指導を行う。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	区内商業振興の観点から補助としては現状が適当である。ただし、祭りを観光資源としてPRしていくためには今まで以上の安全の確保、地域住民への生活への配慮など、主催団体をはじめとするイベント実施体制の整備を行う必要がある。そのため、イベントの安全実施などについての経費補助について検討する。